

鎌倉市公共施設再編計画策定に向けたアンケート調査 結果について

1. アンケート調査の実施方法

調査の目的：平成 24 年度に鎌倉市公共施設再編計画基本方針を策定するにあたり、市民の公共施設の利用状況や公共施設に対する意識などを確認することを目的に実施。

調査の期間：平成 24 年 12 月 10 日(月)～12 月 19 日(水)まで

調査の対象：平成 24 年 12 月 1 日現在、本市在住の 18 歳以上の方から 2,000 人を無作為抽出

調査の方法：郵送方式

回答者数：828 人(回答率 41.4%)

2. アンケート調査の結果

(1) 回答者の属性

【問 1】性別

	回答数	割合
男	366	44.2%
女	456	55.1%
無回答	6	0.7%
合計	828	100.0%

参考) 市民全体の男女比率 [H24. 12. 1 現在]

	市民全体	割合
男	82,089	47.2%
女	91,968	52.8%
合計	174,057	100.0%

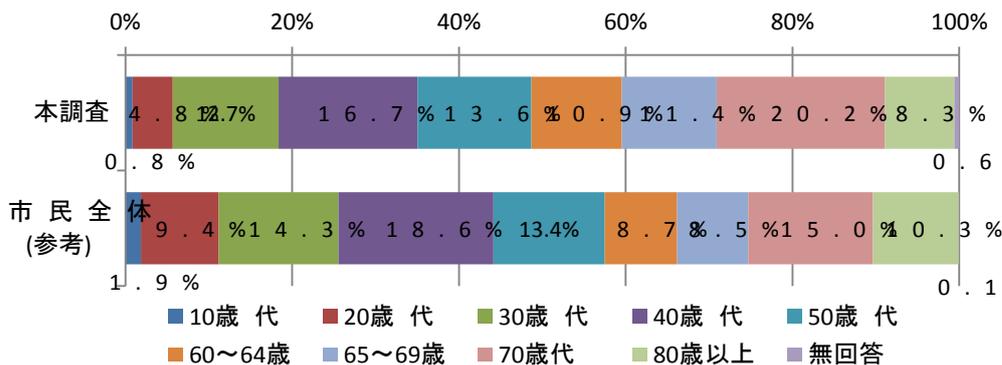
※アンケート調査対象者抽出時の平成 24 年 12 月 1 日現在

【問 2】年齢

	回答数	割合
10歳代	7	0.8%
20歳代	40	4.8%
30歳代	105	12.7%
40歳代	138	16.7%
50歳代	113	13.6%
60～64歳	90	10.9%
65～69歳	94	11.4%
70歳代	167	20.2%
80歳以上	69	8.3%
無回答	5	0.6%
合計	828	100.0%

参考) 市民全体の年代別比率 [H25. 1. 1 現在]

	市民全体	割合	
		全体	18歳以上
10歳未満	13,685	7.9%	
10歳代	14,273	8.2%	
18・19歳	2,765	1.6%	1.9%
20歳代	13,917	8.0%	9.4%
30歳代	21,300	12.2%	14.3%
40歳代	27,639	15.9%	18.6%
50歳代	19,862	11.4%	13.4%
60～64歳	12,897	7.4%	8.7%
65～69歳	12,687	7.3%	8.5%
70歳代	22,248	12.8%	15.0%
80歳以上	15,321	8.8%	10.3%
不明	78	0.0%	0.1%
合計(18歳以上)	148,714	85.5%	100.0%
合計(全体)	173,907	100.0%	



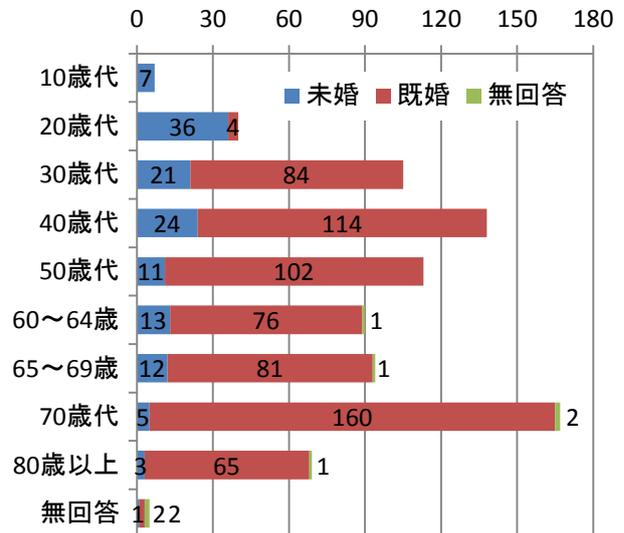
※市民全体は 18 歳以上(本調査の対象)の分布
(年齢階級別データは 1 月 1 日現在の値のみ)

【問 3】職業

	自営業	勤め人	専業主婦・主夫	学生	無職	無回答	合計
10歳代	0	0	0	7	0	0	7
20歳代	2	19	2	12	5	0	40
30歳代	7	60	36	0	2	0	105
40歳代	12	75	46	0	4	1	138
50歳代	9	73	25	0	5	1	113
60～64歳	8	30	24	0	27	1	90
65～69歳	8	12	35	0	39	0	94
70歳代	7	11	55	0	94	0	167
80歳以上	3	0	10	0	55	1	69
無回答	0	1	1	0	1	2	5
合計 (割合)	56 6.8%	281 33.9%	234 28.3%	19 2.3%	232 28.0%	6 0.7%	828 100.0%

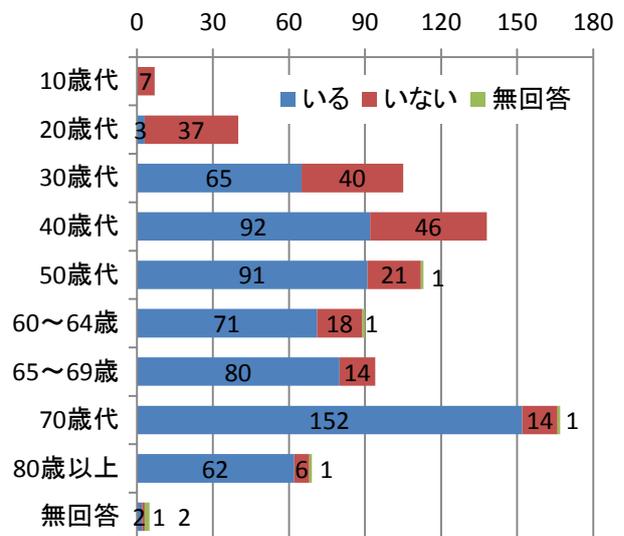
【問 4】結婚について

	未婚	既婚	無回答	合計
10歳代	7	0	0	7
20歳代	36	4	0	40
30歳代	21	84	0	105
40歳代	24	114	0	138
50歳代	11	102	0	113
60～64歳	13	76	1	90
65～69歳	12	81	1	94
70歳代	5	160	2	167
80歳以上	3	65	1	69
無回答	1	2	2	5
合計 (割合)	133 16.1%	688 83.1%	7 0.8%	828 100.0%



【問 5】子どもについて

	いる	いない	無回答	合計
10歳代	0	7	0	7
20歳代	3	37	0	40
30歳代	65	40	0	105
40歳代	92	46	0	138
50歳代	91	21	1	113
60～64歳	71	18	1	90
65～69歳	80	14	0	94
70歳代	152	14	1	167
80歳以上	62	6	1	69
無回答	2	1	2	5
合計 (割合)	618 74.6%	204 24.6%	6 0.7%	828 100.0%

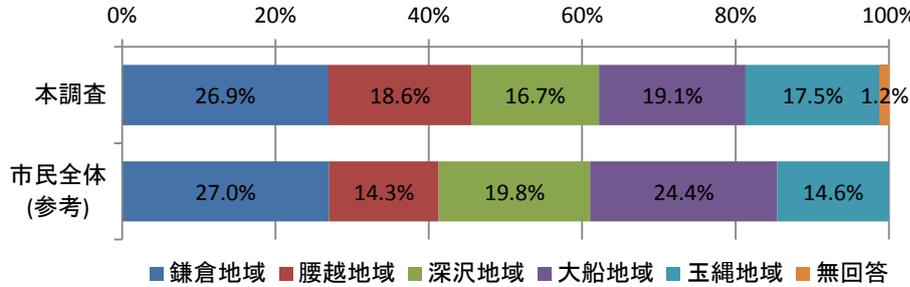


【問 6】居住地域

	回答数	割合
鎌倉地域	223	26.9%
腰越地域	154	18.6%
深沢地域	138	16.7%
大船地域	158	19.1%
玉縄地域	145	17.5%
無回答	10	1.2%
合計	828	100.0%

参考) 市民全体の地域比率 [H24. 12. 1 現在]

	市民全体	割合
鎌倉地域	46,979	27.0%
腰越地域	24,892	14.3%
深沢地域	34,380	19.8%
大船地域	42,456	24.4%
玉縄地域	25,350	14.6%
合計	174,057	100.0%



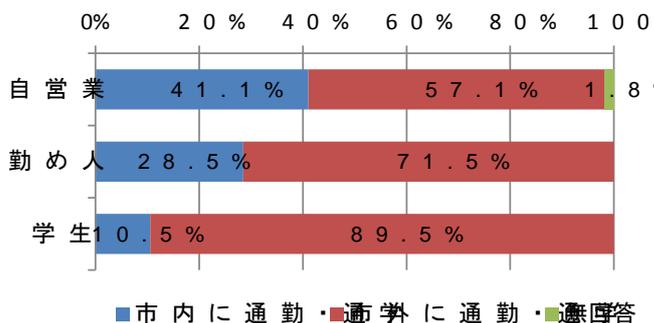
【問 7】居住年数

	回答数	割合
1年未満	17	2.1%
1年以上5年未満	76	9.2%
5年以上10年未満	83	10.0%
10年以上20年未満	147	17.8%
20年以上50年未満	386	46.6%
50年以上	113	13.6%
無回答	6	0.7%
合計	828	100.0%

【問 8・9】鎌倉市に住む理由 (次ページ)

【問 10】鎌倉市内に通勤・通学しているか

	鎌倉市内に		通勤・通学 していない	無回答	合計
	通勤	通学			
自営業	23	0	32	1	56
勤め人	77	3	201	0	281
専業主婦・主夫	15	0	203	16	234
学生	0	2	17	0	19
無職	5	1	200	26	232
無回答	2	0	2	2	6
合計 (割合)	122 14.7%	6 0.7%	655 79.1%	45 5.4%	828 100.0%



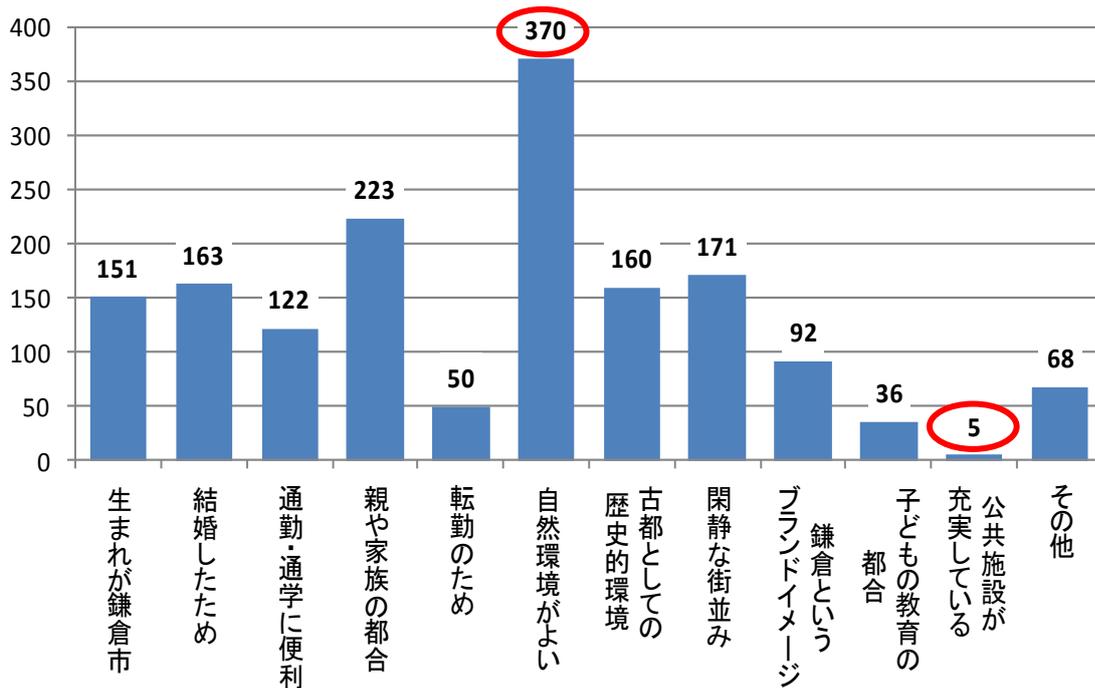
【問 8・問 9】鎌倉市に住む理由

あなたが鎌倉市に住む理由は何ですか？ 3つまで選んでください。

	回答数	割合
生まれが鎌倉市	151	18.2%
結婚したため	163	19.7%
通勤・通学に便利	122	14.7%
親や家族の都合	223	26.9%
転勤のため	50	6.0%
自然環境がよい	370	44.7%
古都としての歴史的環境	160	19.3%
閑静な街並み	171	20.7%
鎌倉というブランドイメージ	92	11.1%
子どもの教育の都合	36	4.3%
公共施設が充実している	5	0.6%
その他	68	8.2%
無回答者(全て該当無含む)	10	1.2%
本設問の回答者数	818	98.8%
回答者数	828	100.0%

問 9 その他

- ・ 息子夫婦・娘夫婦と同居、近居のため 等
- ・ 社宅があるため
- ・ 親が建てた家がある、親が住んでいたから 等
- ・ 子どもの頃から住んでいる・育ちが鎌倉・代々住んでいるため 等
- ・ 配偶者が鎌倉出身、配偶者の実家に近い 等
- ・ 事業のため、自営のため（職住近接）、就職のため 等
- ・ 海の遊びが好き・海が好き・海が見える所
- ・ 作品制作・発表の場として
- ・ 土地を探していて条件（希望金額、駅からの近さ等）に合った、分譲地に当たった 等
- ・ 物価の安さ、利便性がよい、住みやすさ、環境と家賃のバランス 等
- ・ 友人が多く住んでいるため
- ・ 交通の便が良い、大船駅まで歩けるため
- ・ 地域の安全性、駅前の下町感、大船駅周辺の活気、人の雰囲気 等
- ・ あこがれ



- 「自然環境の良さ」を理由に挙げる人が突出しており、他の回答の 2 倍程度多い。
- 歴史的環境・閑静な街並みといった街の魅力、親や家族の都合も比較的多い。
- 公共施設の充実を「住む理由の上位 3 つ」に挙げる人は少ない。

(2) 公共施設の利用状況

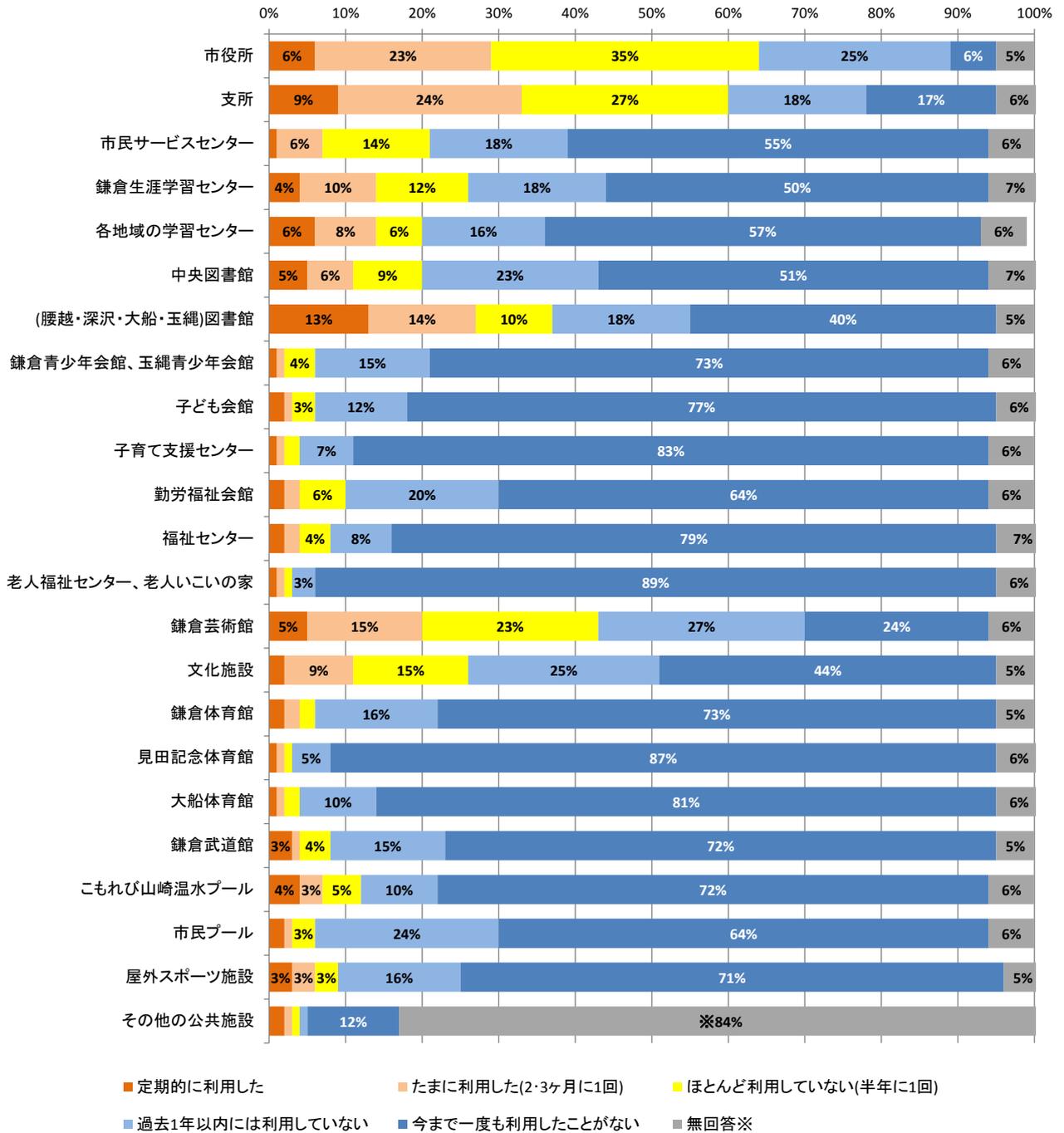
【問 11】：公共施設の利用状況

あなたは過去 1 年間に鎌倉市の公共施設をどのくらい利用しましたか？
以下の施設ごとに 1 つお答え下さい。

	定期的に 利用した	たまに 利用した	ほとんど利用 していない	過去1年以内 には利用して いない	今まで一度も 利用したこと がない	無回答	合計
市役所	50 6.0%	193 23.3%	287 34.7%	208 25.1%	51 6.2%	39 4.7%	828 100.0%
支所	75 9.1%	195 23.6%	226 27.3%	147 17.8%	138 16.7%	47 5.7%	828 100.0%
市民サービスセンター	5 0.6%	50 6.0%	116 14.0%	148 17.9%	456 55.1%	53 6.4%	828 100.0%
鎌倉生涯学習センター	30 3.6%	83 10.0%	98 11.8%	150 18.1%	412 49.8%	55 6.6%	828 100.0%
各地域の学習センター	49 5.9%	67 8.1%	52 6.3%	136 16.4%	471 56.9%	53 6.4%	828 100.0%
中央図書館	40 4.8%	53 6.4%	71 8.6%	190 22.9%	418 50.5%	56 6.8%	828 100.0%
(腰越・深沢・大船・玉縄) 図書館	107 12.9%	117 14.1%	80 9.7%	149 18.0%	331 40.0%	44 5.3%	828 100.0%
鎌倉青少年会館、 玉縄青少年会館	12 1.4%	11 1.3%	29 3.5%	124 15.0%	602 72.7%	50 6.0%	828 100.0%
子ども会館	16 1.9%	8 1.0%	23 2.8%	95 11.5%	639 77.2%	47 5.7%	828 100.0%
子育て支援センター	10 1.2%	8 1.0%	15 1.8%	61 7.4%	685 82.7%	49 5.9%	828 100.0%
勤労福祉会館	13 1.6%	19 2.3%	51 6.2%	169 20.4%	527 63.6%	49 5.9%	828 100.0%
福祉センター	14 1.7%	17 2.1%	29 3.5%	63 7.6%	650 78.5%	55 6.6%	828 100.0%
老人福祉センター、 老人いこいの家	10 1.2%	4 0.5%	8 1.0%	26 3.1%	734 88.6%	46 5.6%	828 100.0%
鎌倉芸術館	43 5.2%	121 14.6%	194 23.4%	225 27.2%	199 24.0%	46 5.6%	828 100.0%
文化施設	16 1.9%	75 9.1%	120 14.5%	207 25.0%	367 44.3%	43 5.2%	828 100.0%
鎌倉体育館	17 2.1%	17 2.1%	19 2.3%	129 15.6%	601 72.6%	45 5.4%	828 100.0%
見田記念体育館	4 0.5%	5 0.6%	11 1.3%	41 5.0%	721 87.1%	46 5.6%	828 100.0%
大船体育館	12 1.4%	5 0.6%	13 1.6%	81 9.8%	670 80.9%	47 5.7%	828 100.0%
鎌倉武道館	22 2.7%	11 1.3%	29 3.5%	125 15.1%	597 72.1%	44 5.3%	828 100.0%
こもれび山崎温水プール	36 4.3%	25 3.0%	38 4.6%	86 10.4%	594 71.7%	49 5.9%	828 100.0%
市民プール	17 2.1%	11 1.3%	22 2.7%	200 24.2%	531 64.1%	47 5.7%	828 100.0%
屋外スポーツ施設	25 3.0%	22 2.7%	21 2.5%	132 15.9%	584 70.5%	44 5.3%	828 100.0%
その他の公共施設	14 1.7%	12 1.4%	4 0.5%	5 0.6%	100 12.1%	693 83.7%	828 100.0%

※その他公共施設の無回答には、施設名記入無しを含む

<全体>



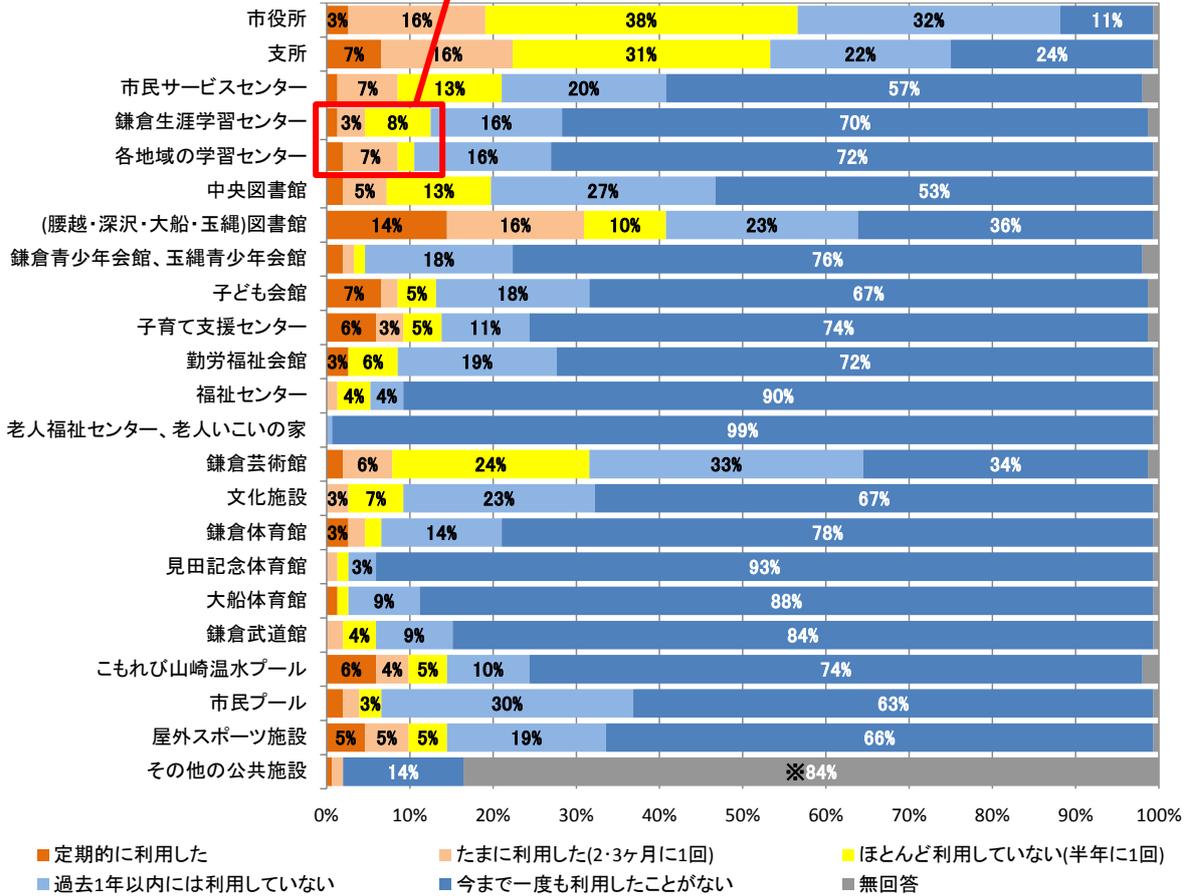
※その他公共施設の無回答には、施設名記入無しを含む

○最もよく利用されている施設(回答で、定期的にご利用した、たまにご利用したと回答があったもの)は市役所・支所で、次いで図書館、鎌倉芸術館、文化施設(国宝館等)などとなっている。

【年代別】

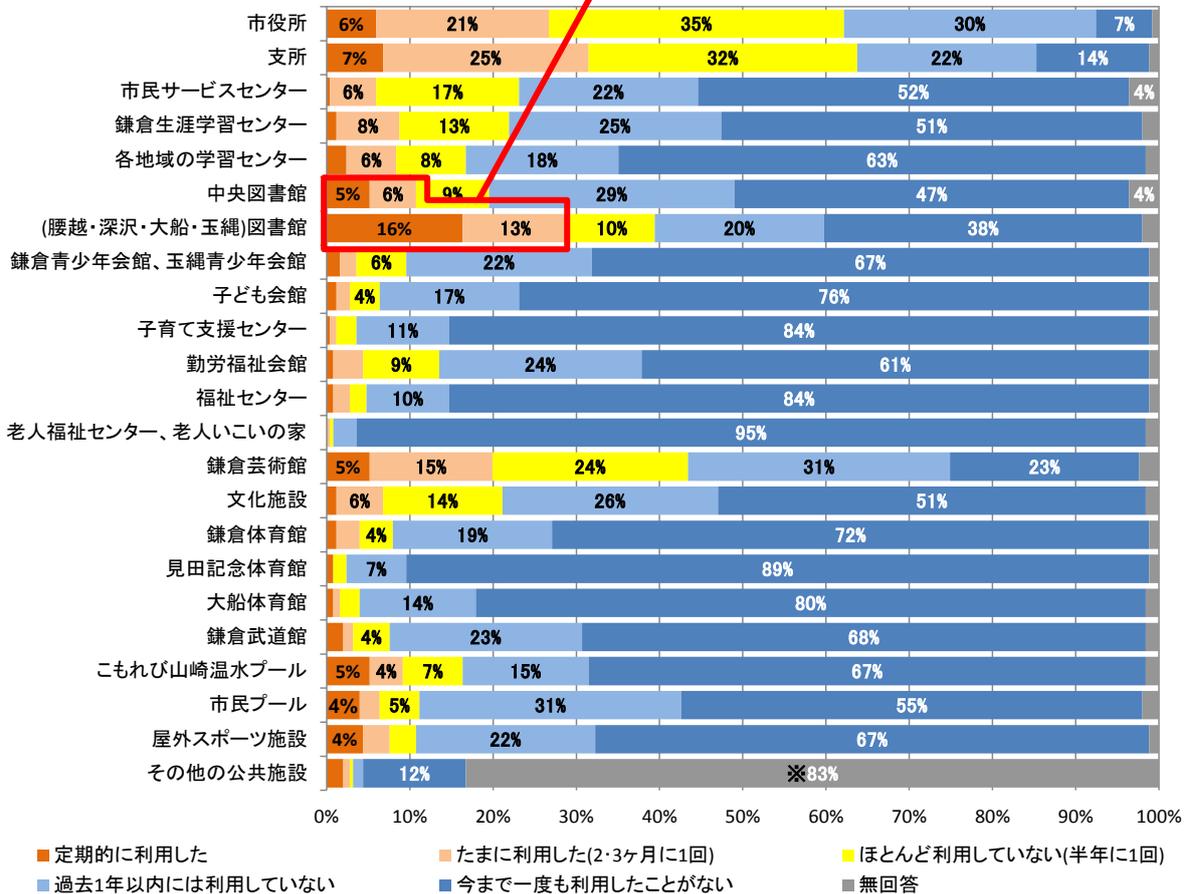
<10 歳代～30 歳代>

他の年齢層に比べて、学習センターを利用する人の割合が小さい

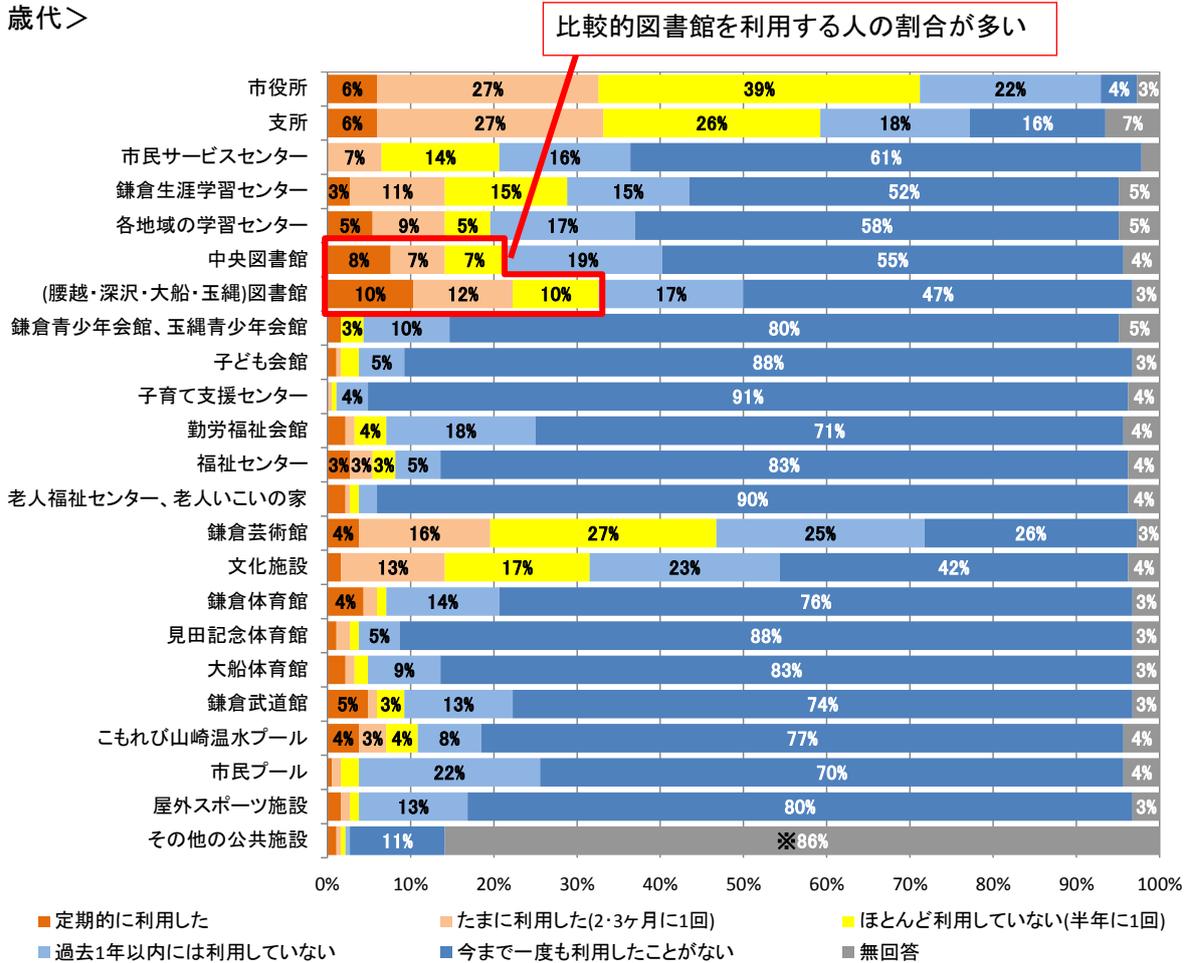


<40 歳代～50 歳代>

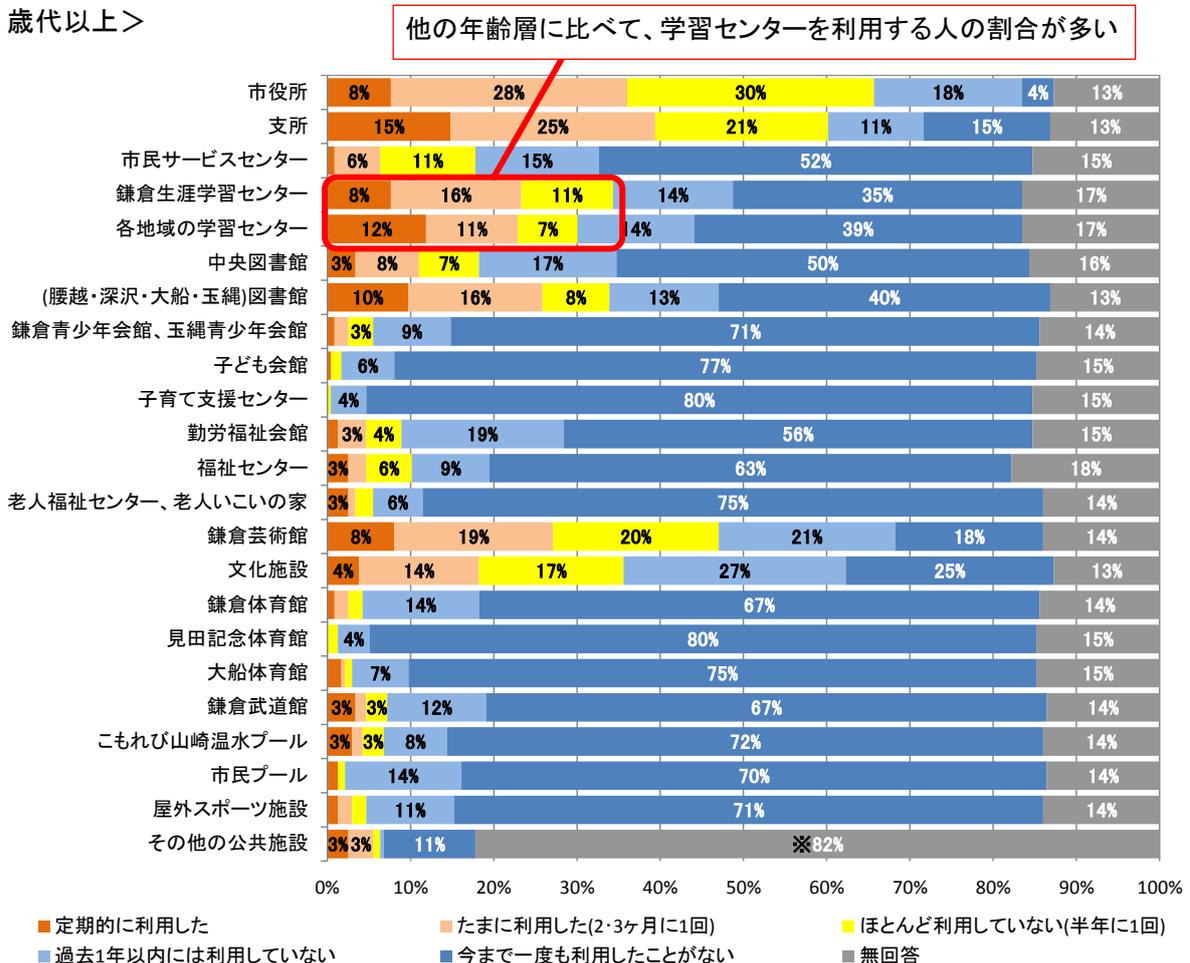
他の年齢層に比べて、図書館を利用する人の割合が多い



<60 歳代>



<70 歳代以上>



【問 12】：あまり施設を利用しない理由

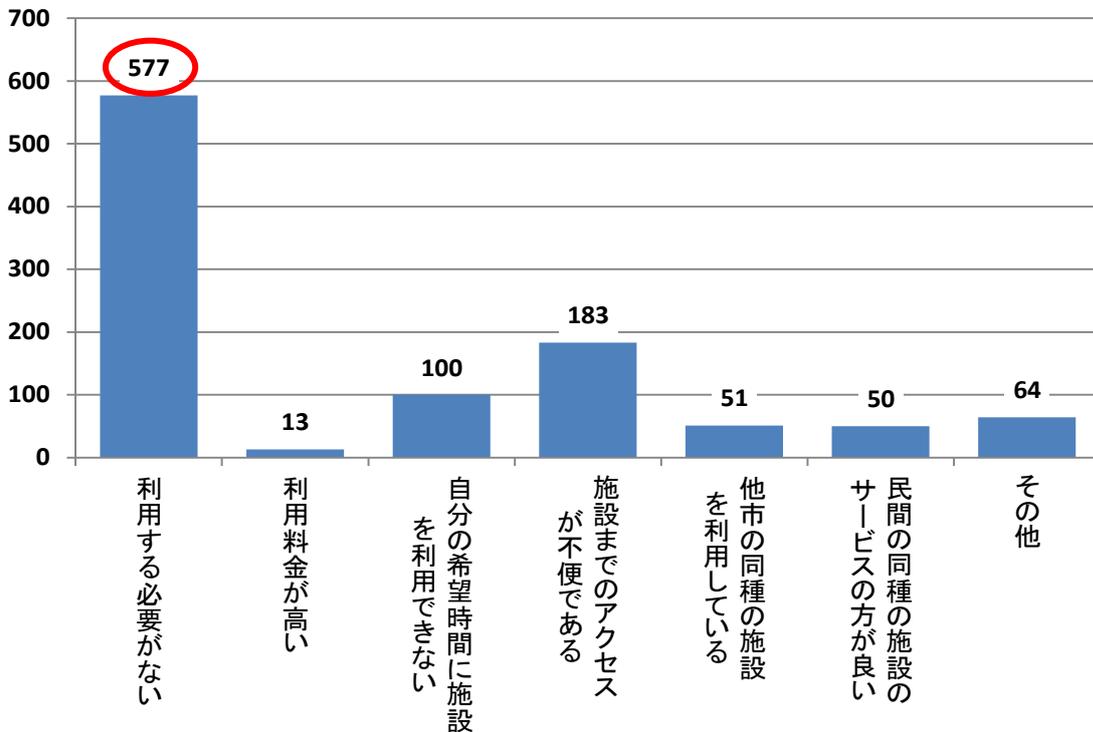
【問 11 で「3. ほとんど利用していない」、「4. 過去 1 年以内には利用していない」、「5. 今まで一度も利用したことがない」と回答された方に】

あなたが鎌倉市の公共施設を利用されない理由は何ですか？(複数回答可)

- ①利用する必要がない
- ②利用料金が高い
- ③自分の希望時間に施設を利用できない
- ④施設までのアクセスが不便である
- ⑤他市の同種の施設を利用している
- ⑥民間の同種の施設のサービス(設備・対応)の方が良い
- ⑦その他

	回答数	割合
①利用する必要がない	577	69.7%
②利用料金が高い	13	1.6%
③自分の希望時間に施設を利用できない	100	12.1%
④施設までのアクセスが不便である	183	22.1%
⑤他市の同種の施設を利用している	51	6.2%
⑥民間の同種の施設のサービスの方が良い	50	6.0%
⑦その他	64	7.7%
無回答者(全て該当無含む)	110	13.3%
本設問の回答者数	718	86.7%
回答者数	828	100.0%

※割合はアンケート回答者数828人に対する値



○アクセスや利用時間の不便さよりも、公共施設を利用する必要がないとの回答が多い。

【問 13】：本市施設の充実度

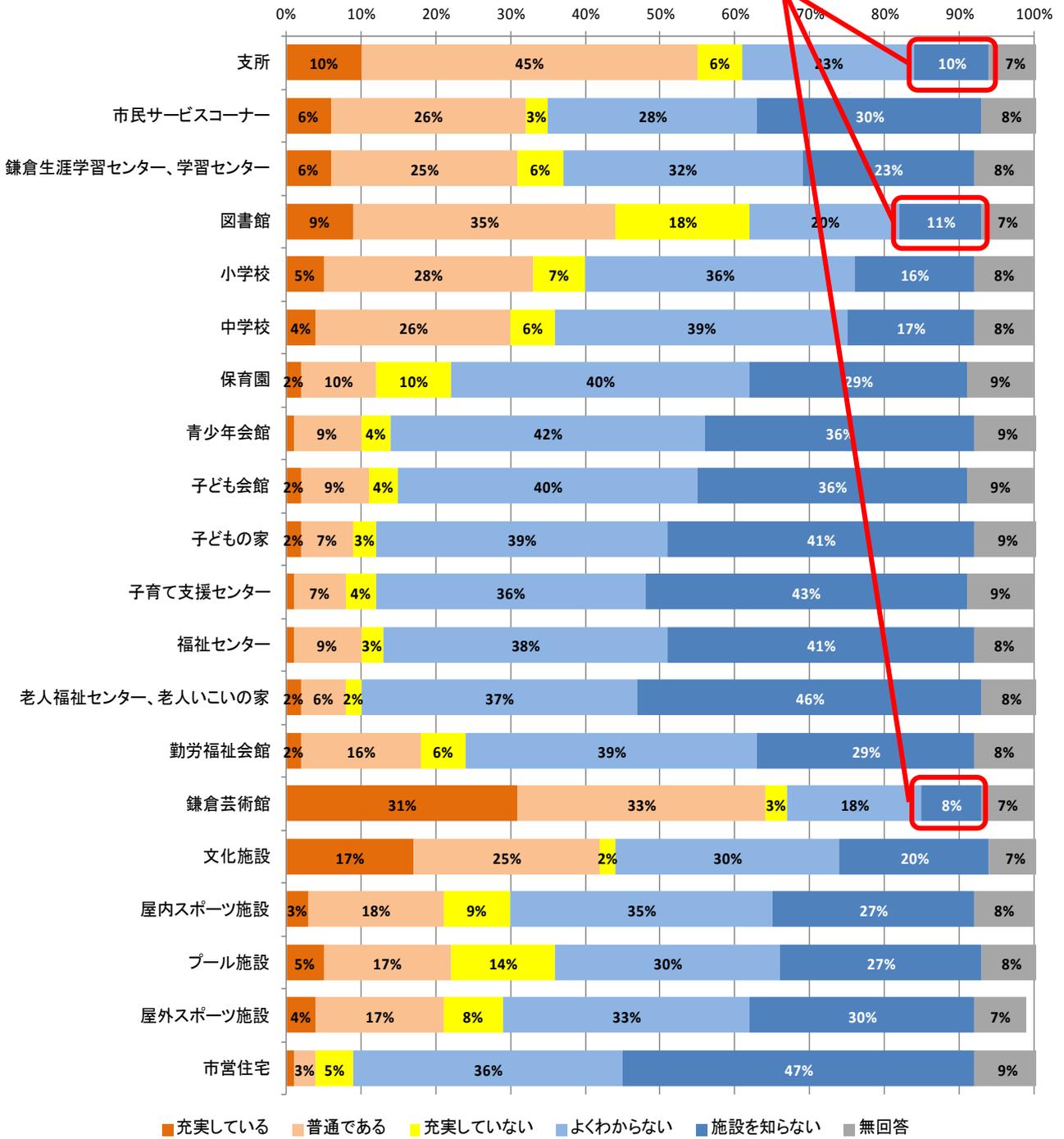
鎌倉市の公共施設の量やサービスの内容は他の市町村と比べて充実していると思いますか？

以下の施設毎に1つお答えください。

	充実している	普通である	充実していない	よくわからない	施設を知らない	無回答	合計
支所	81 9.8%	374 45.2%	46 5.6%	192 23.2%	81 9.8%	54 6.5%	828 100.0%
市民サービスコーナー	53 6.4%	214 25.8%	25 3.0%	229 27.7%	244 29.5%	63 7.6%	828 100.0%
鎌倉生涯学習センター、学習センター	47 5.7%	205 24.8%	49 5.9%	265 32.0%	194 23.4%	68 8.2%	828 100.0%
図書館	72 8.7%	289 34.9%	146 17.6%	168 20.3%	94 11.4%	59 7.1%	828 100.0%
小学校	43 5.2%	230 27.8%	59 7.1%	300 36.2%	128 15.5%	68 8.2%	828 100.0%
中学校	33 4.0%	212 25.6%	51 6.2%	320 38.6%	143 17.3%	69 8.3%	828 100.0%
保育園	16 1.9%	82 9.9%	86 10.4%	333 40.2%	240 29.0%	71 8.6%	828 100.0%
青少年会館	11 1.3%	71 8.6%	30 3.6%	347 41.9%	298 36.0%	71 8.6%	828 100.0%
子ども会館	20 2.4%	76 9.2%	33 4.0%	327 39.5%	300 36.2%	72 8.7%	828 100.0%
子どもの家	18 2.2%	57 6.9%	25 3.0%	321 38.8%	336 40.6%	71 8.6%	828 100.0%
子育て支援センター	12 1.4%	61 7.4%	35 4.2%	295 35.6%	353 42.6%	72 8.7%	828 100.0%
福祉センター	10 1.2%	74 8.9%	27 3.3%	314 37.9%	336 40.6%	67 8.1%	828 100.0%
老人福祉センター、老人いこいの家	16 1.9%	46 5.6%	15 1.8%	304 36.7%	381 46.0%	66 8.0%	828 100.0%
勤労福祉会館	16 1.9%	131 15.8%	52 6.3%	326 39.4%	237 28.6%	66 8.0%	828 100.0%
鎌倉芸術館	254 30.7%	273 33.0%	27 3.3%	150 18.1%	65 7.9%	59 7.1%	828 100.0%
文化施設	137 16.5%	203 24.5%	17 2.1%	250 30.2%	166 20.0%	55 6.6%	828 100.0%
屋内スポーツ施設	24 2.9%	149 18.0%	77 9.3%	288 34.8%	224 27.1%	66 8.0%	828 100.0%
プール施設	40 4.8%	143 17.3%	118 14.3%	245 29.6%	220 26.6%	62 7.5%	828 100.0%
屋外スポーツ施設	32 3.9%	142 17.1%	69 8.3%	273 33.0%	251 30.3%	61 7.4%	828 100.0%
市営住宅	5 0.6%	22 2.7%	45 5.4%	297 35.9%	385 46.5%	74 8.9%	828 100.0%

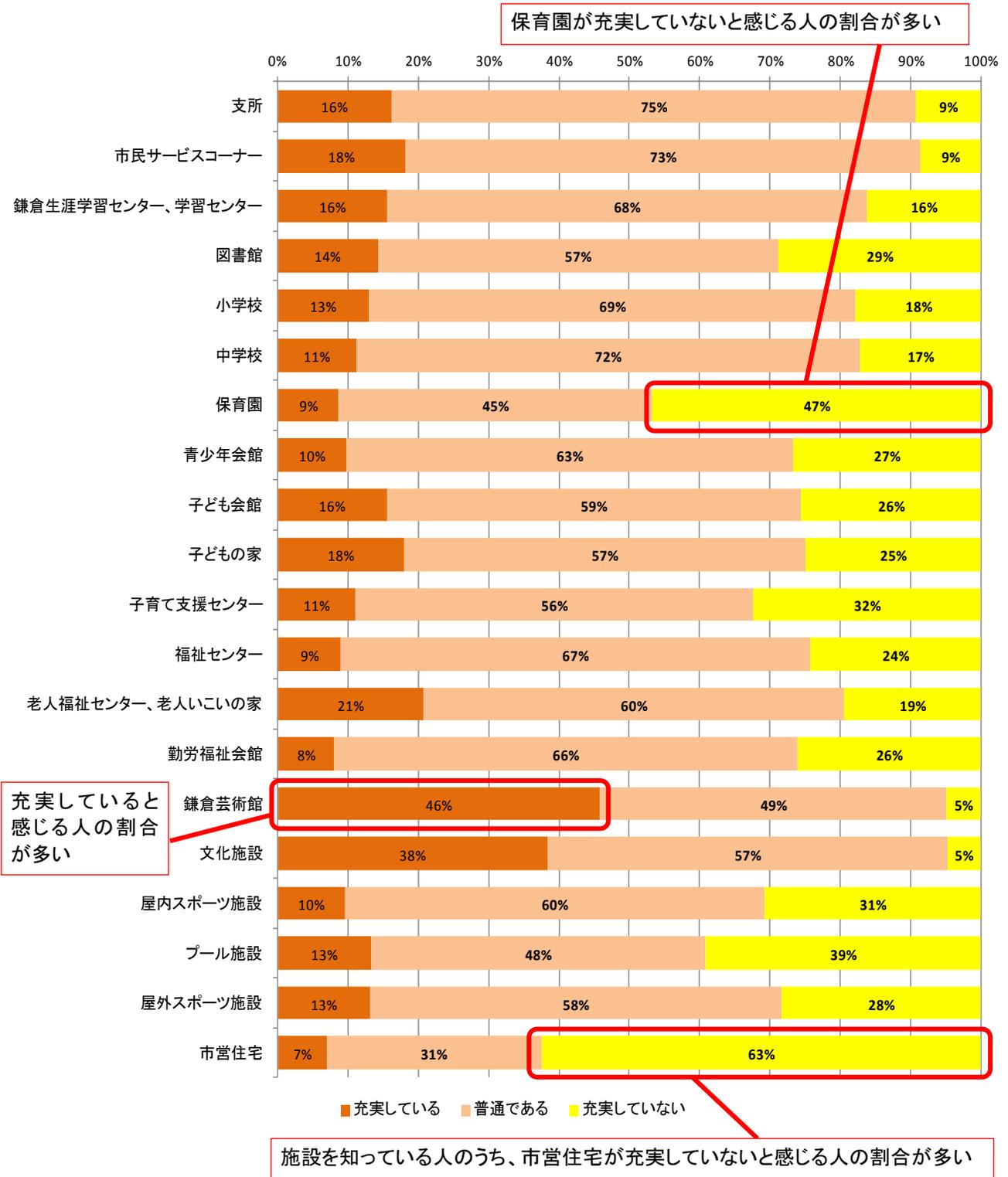
<全体>

支所、図書館、鎌倉芸術館は施設を知らないという人の割合が少ない



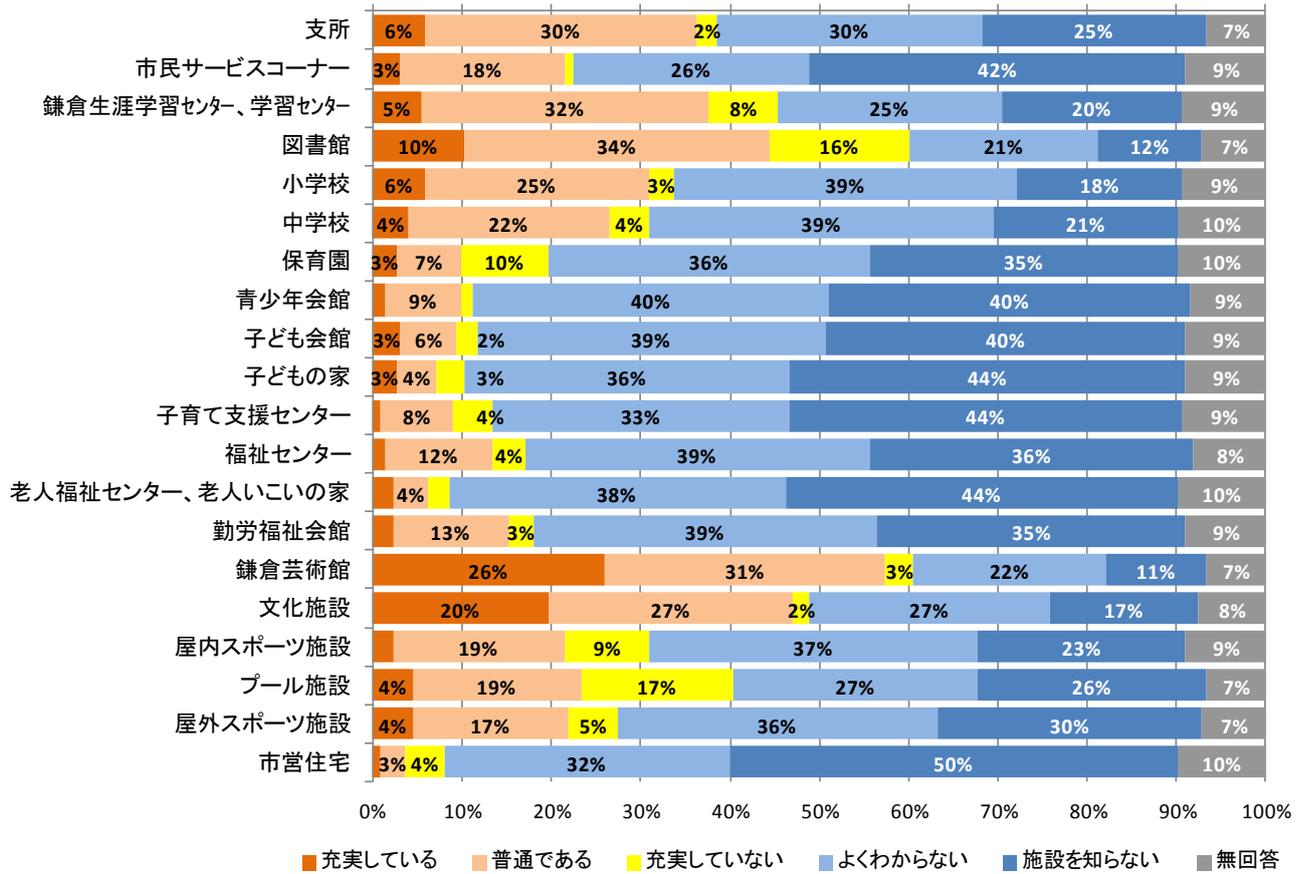
- 支所、図書館、鎌倉芸術館はよく知られている。
- 問 11 で比較的よく利用されていると回答があった鎌倉芸術館や文化施設は、充実した施設として受け止められている。
- 上記施設以外は「よくわからない」、「施設を知らない」人の割合が多い。

< 「よくわからない」「施設を知らない」「無回答」を除いたデータ >

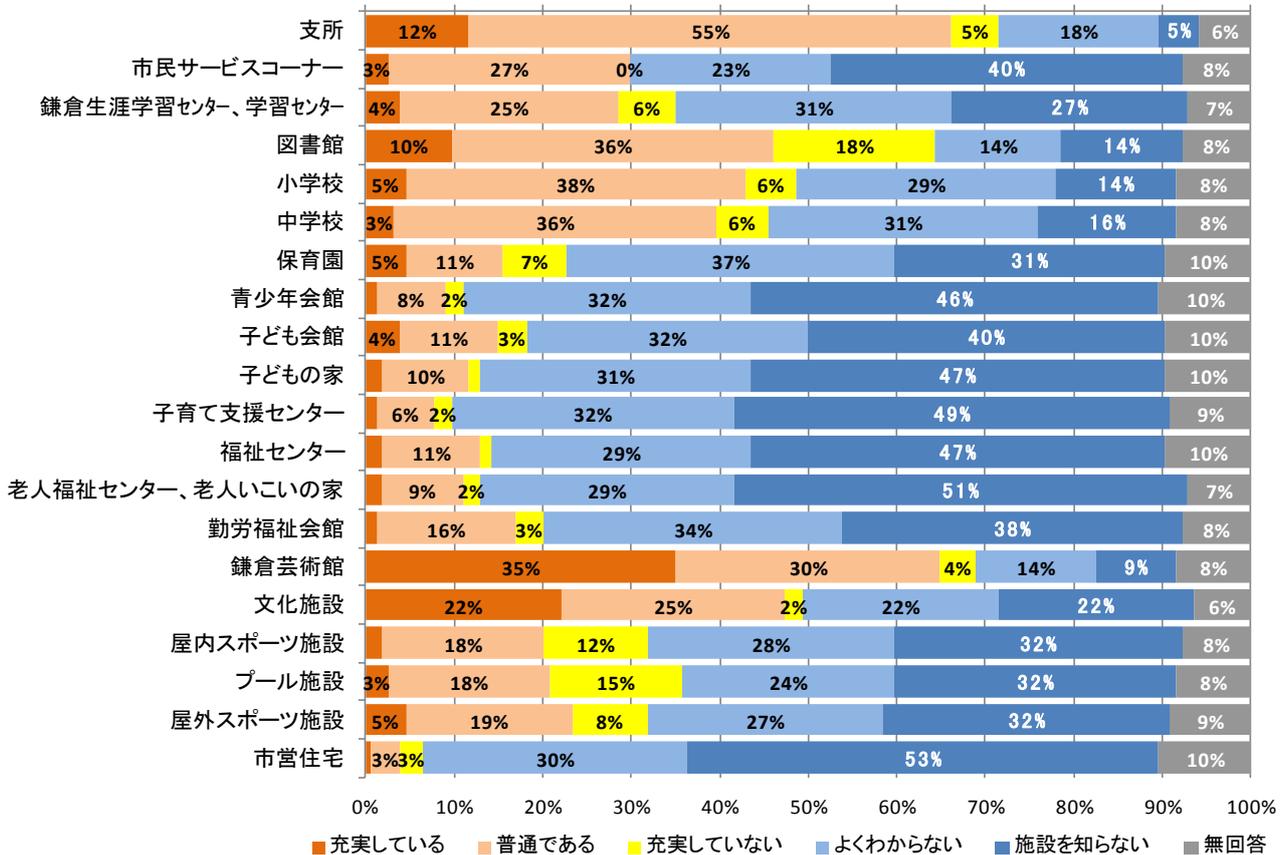


○ 保育園と市営住宅は「充実していない」と感じる人の割合が多い。
○ 鎌倉芸術館は「充実している」と感じる人の割合が多い。

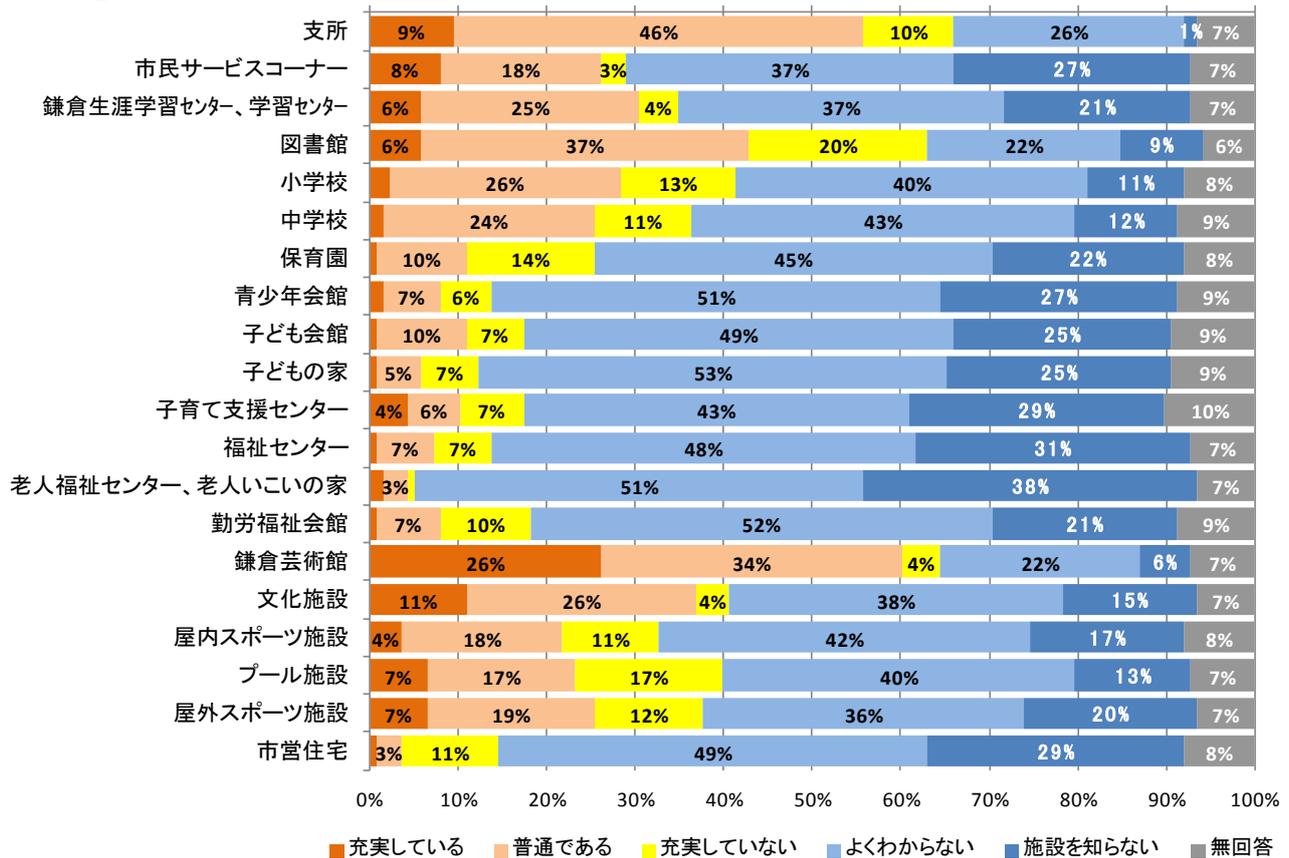
【地域別】
 <鎌倉地域の居住者>



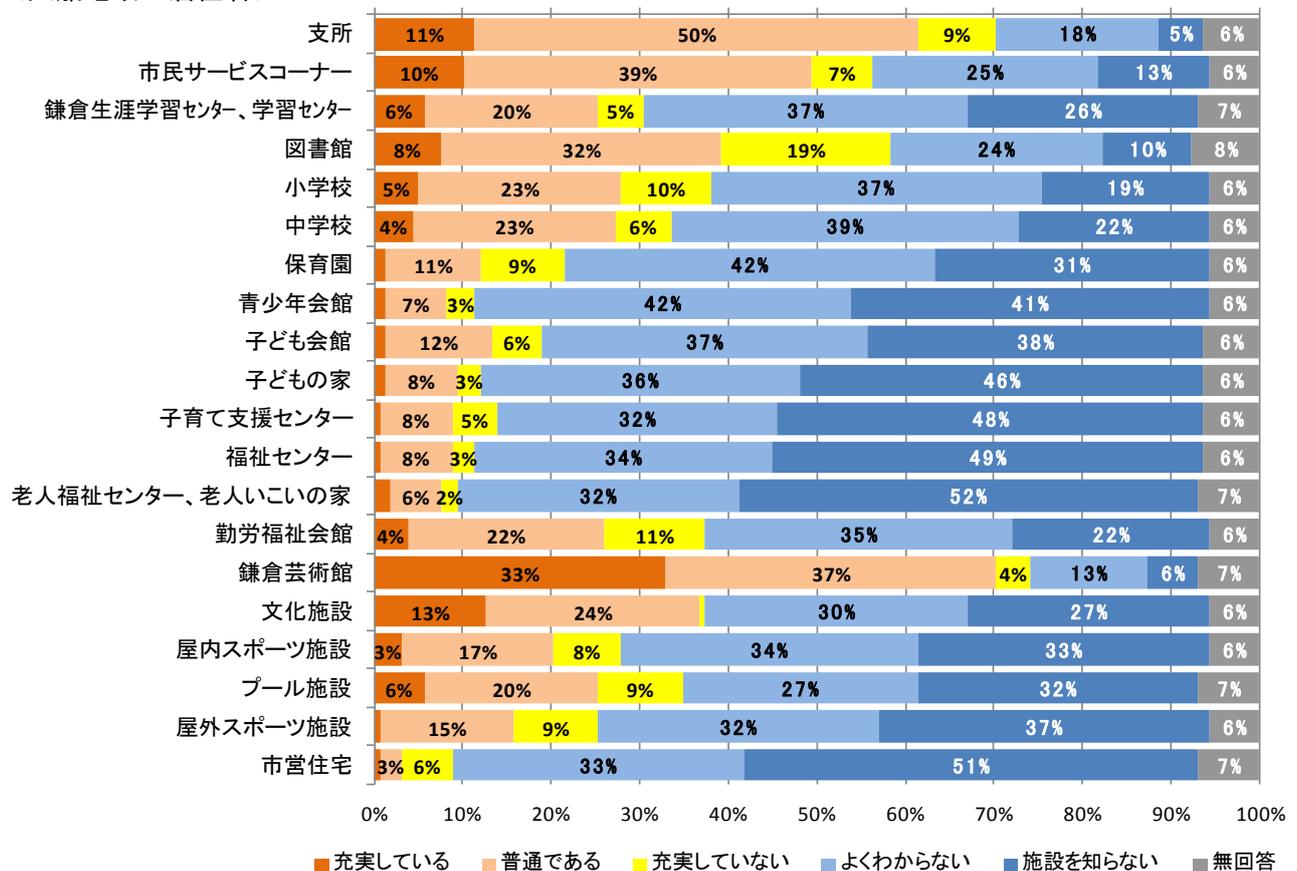
<腰越地域の居住者>



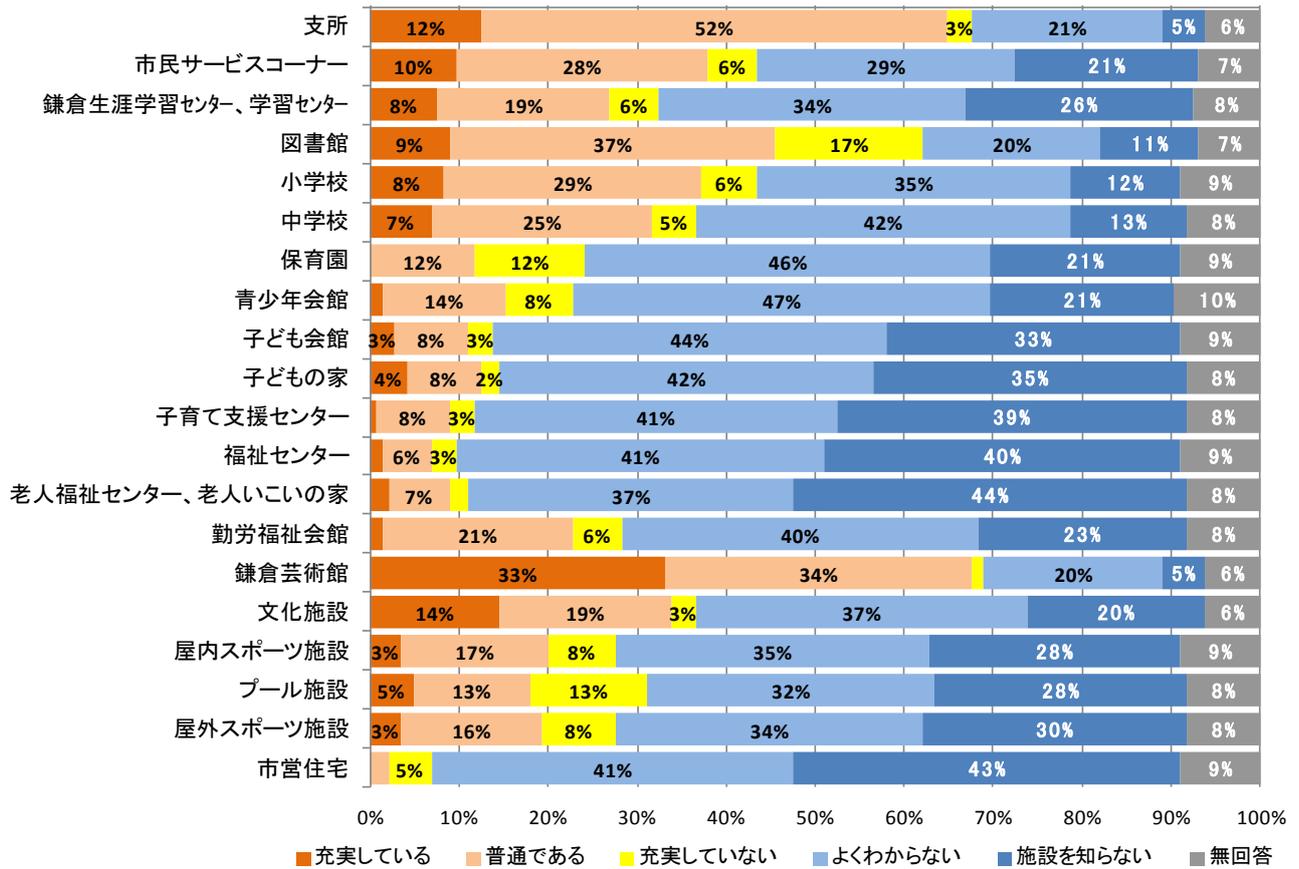
< 深沢地域の居住者 >



< 大船地域の居住者 >



<玉縄地域の居住者>



(3) 今後の公共施設のあり方について

現在、鎌倉市の多くの公共施設は老朽化が進んでおり、将来、施設の建替えや改修工事にかかる経費を試算したところ、今ある公共施設を現状のまま維持していくことは困難な状況と分かりました。この状況における鎌倉市の保有する公共施設について、あなたの考えをお聞かせください。

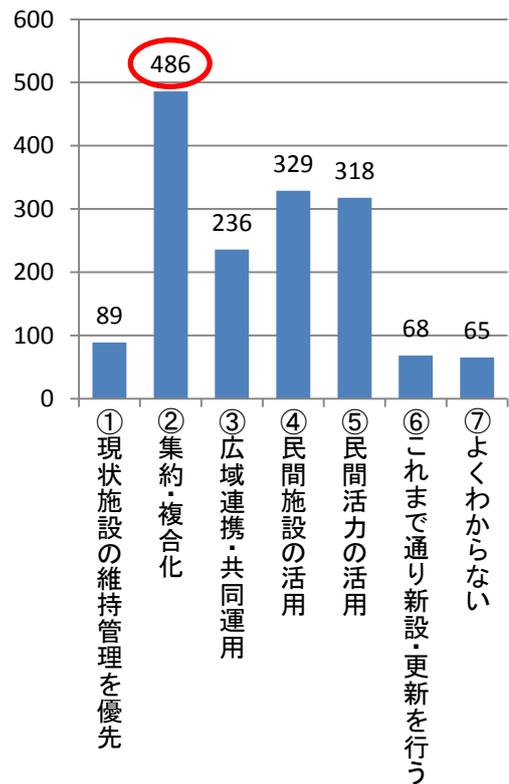
【問 14】：公共施設のあり方に関する今後の方策

今ある公共施設をすべて維持していくことが困難な中、公共施設のあり方を見直し、有効活用などによって、施設にかかる経費を削減していく必要があります。あなたは、鎌倉市の公共施設を今後どのようにしていくべきだと思いますか？公共施設のあり方に対する今後の方策として、あなたが適切だと考えるものを選んで下さい。(複数回答可)

- ① 現在ある施設の維持管理を優先して行うべきである。
- ② 現在ある施設の統廃合や施設機能の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らして、施設の再編をするべきである。
- ③ 近隣自治体と共同で1つの施設を整備・共有し、経費を削減するべきである。
- ④ 民間が保有する施設(例えば会議室やホール、スポーツ施設等)を公共施設として使用し、経費を削減するべきである。
- ⑤ 施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウや資金を活用し、経費を削減するべきである。
- ⑥ 今後もこれまで通り地域ニーズに応え、積極的に新設・更新(建替え)していくべきである。
- ⑦ よくわからない。

	回答数	割合
① 現状施設の維持管理を優先	89	10.7%
② 集約・複合化	486	58.7%
③ 広域連携・共同運用	236	28.5%
④ 民間施設の活用	329	39.7%
⑤ 民間活力の活用	318	38.4%
⑥ これまで通り新設・更新を行う	68	8.2%
⑦ よくわからない	65	7.9%
無回答者(全て該当無含む)	41	5.0%
本設問の回答者数	787	95.0%
回答者数	828	100.0%

※割合はアンケート回答者数828人に対する値



- 現在ある施設の統廃合や施設機能の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らして施設の再編をするとの回答が最も多い。
- 次いで、民間施設の活用や、民間のノウハウや資金等民間活力の活用が多い。
- 近隣自治体との広域連携や共同運用すべきとの回答も多い。
- 「現状施設の維持管理を優先」、「これまで通り新設・更新を行う」の回答は少ない。

【問 15】：優先的に維持すべき施設について

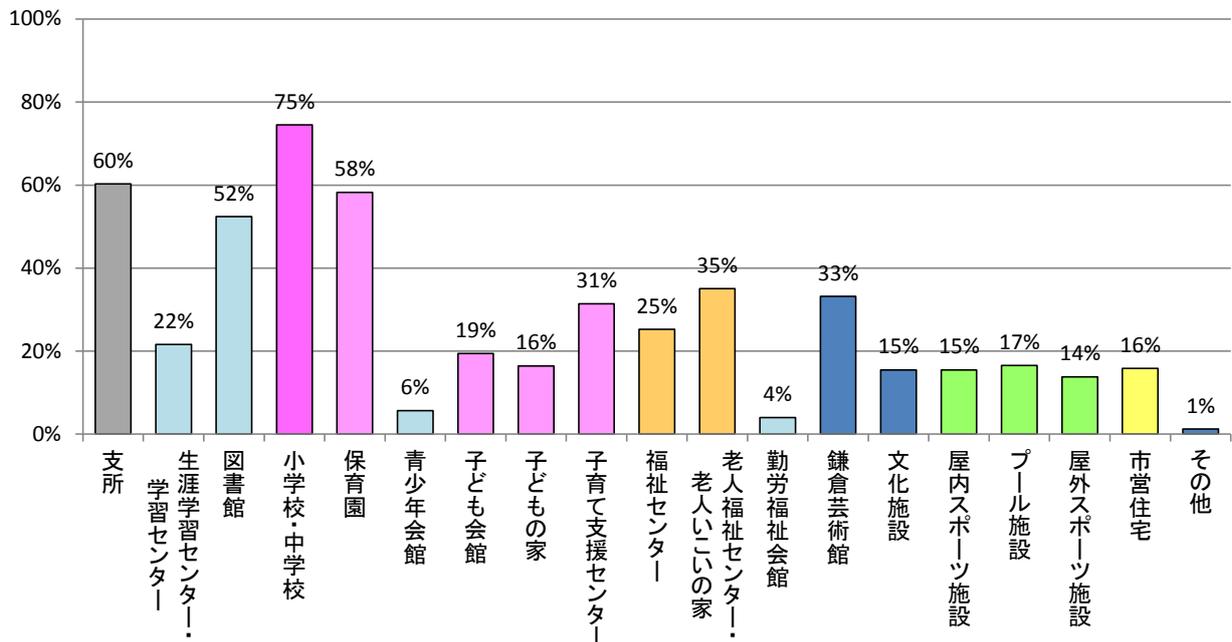
今ある公共施設をすべて維持できなくなった場合、市が将来にわたり優先的に維持するべきと考える公共施設を選んでください。(複数回答可)

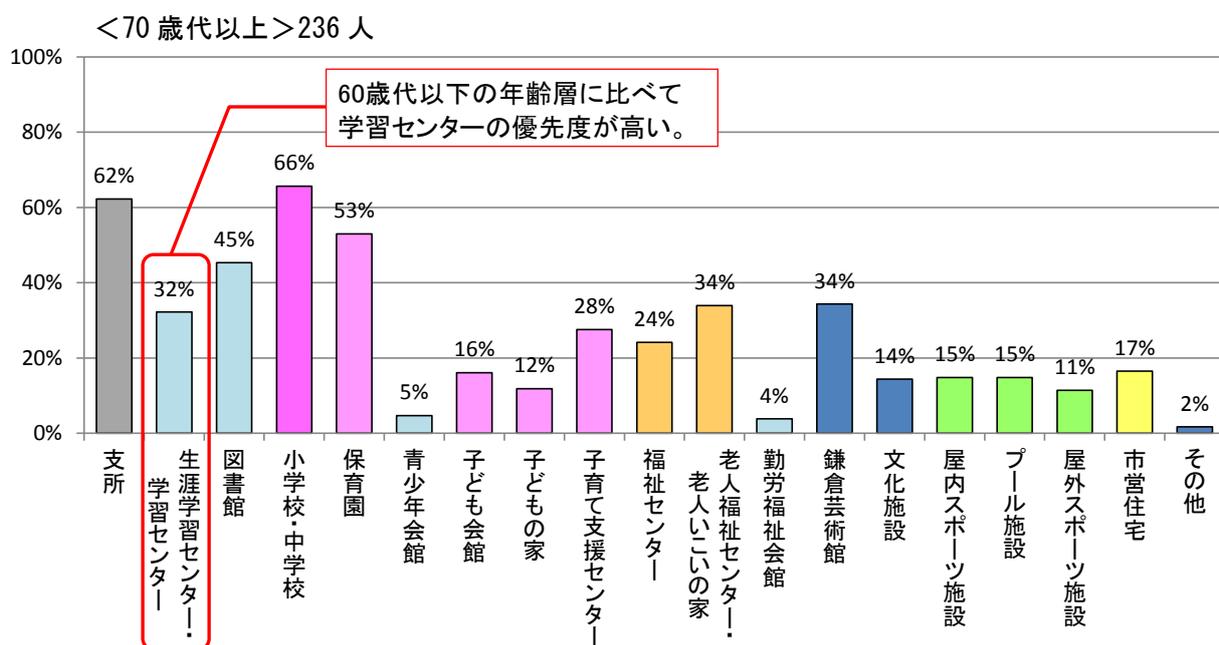
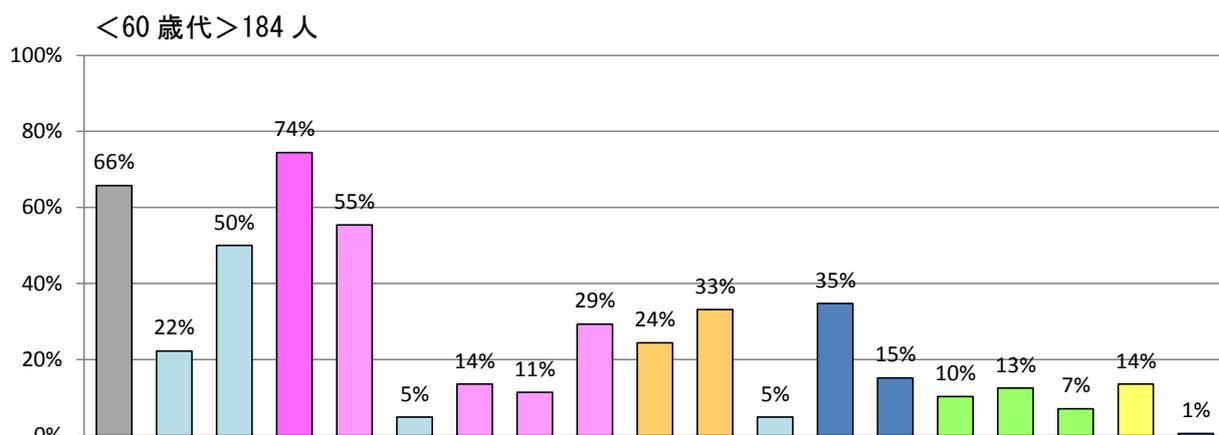
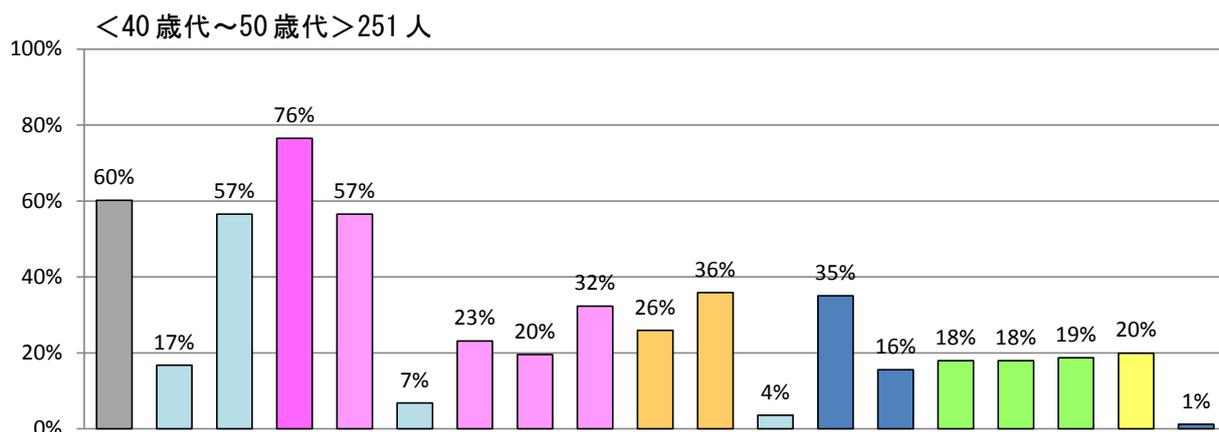
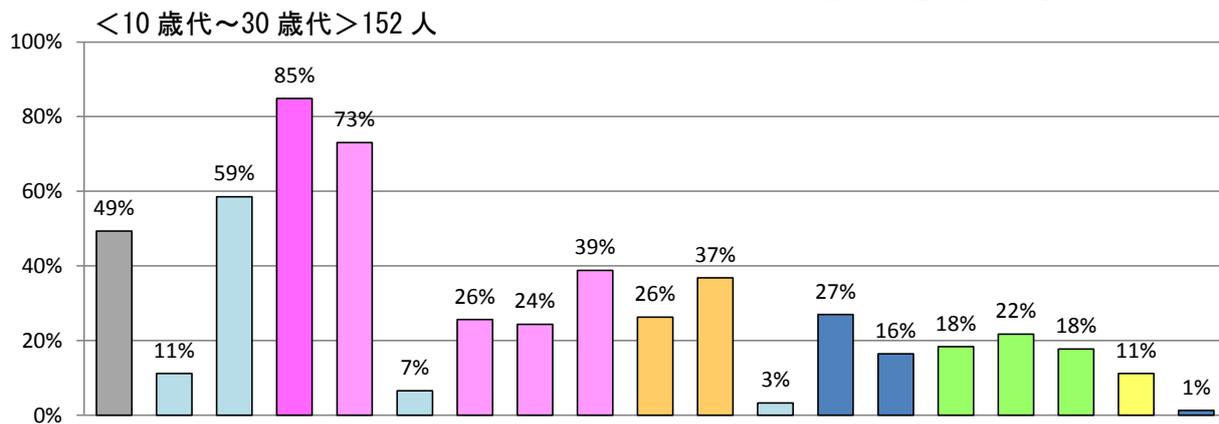
- | | | |
|-------------------|--------------------|------------|
| ① 支所 | ⑦ 子ども会館 | ⑬ 鎌倉芸術館 |
| ② 生涯学習センター・学習センター | ⑧ 子どもの家 | ⑭ 文化施設 |
| ③ 図書館 | ⑨ 子育て支援センター | ⑮ 屋内スポーツ施設 |
| ④ 小学校・中学校 | ⑩ 福祉センター | ⑯ プール施設 |
| ⑤ 保育園 | ⑪ 老人福祉センター・老人いこいの家 | ⑰ 屋外スポーツ施設 |
| ⑥ 青少年会館 | ⑫ 勤労福祉会館 | ⑱ 市営住宅 |
| | | ⑲ その他 |

	回答数	割合
支所	499	60.3%
生涯学習センター・学習センター	179	21.6%
図書館	434	52.4%
小学校・中学校	617	74.5%
保育園	482	58.2%
青少年会館	47	5.7%
子ども会館	161	19.4%
子どもの家	136	16.4%
子育て支援センター	260	31.4%
福祉センター	209	25.2%
老人福祉センター・老人いこいの家	290	35.0%
勤労福祉会館	33	4.0%
鎌倉芸術館	275	33.2%
文化施設	128	15.5%
屋内スポーツ施設	128	15.5%
プール施設	137	16.5%
屋外スポーツ施設	114	13.8%
市営住宅	131	15.8%
その他	10	1.2%
無回答者(全て該当無含む)	37	4.5%
本設問の回答者数	791	95.5%
回答者数	828	100.0%
回答施設数の平均	5.4 施設	

○小中学校の義務教育施設を除くと、支所、保育園、図書館を優先的に維持すべきとする回答が最も多い。
 ○次いで、老人福祉センター、鎌倉芸術館、子育て支援センターを優先的に維持すべきという回答が多い。
 ○青少年会館、勤労福祉会館を優先的に維持すべきとする回答は少ない。

<全体>



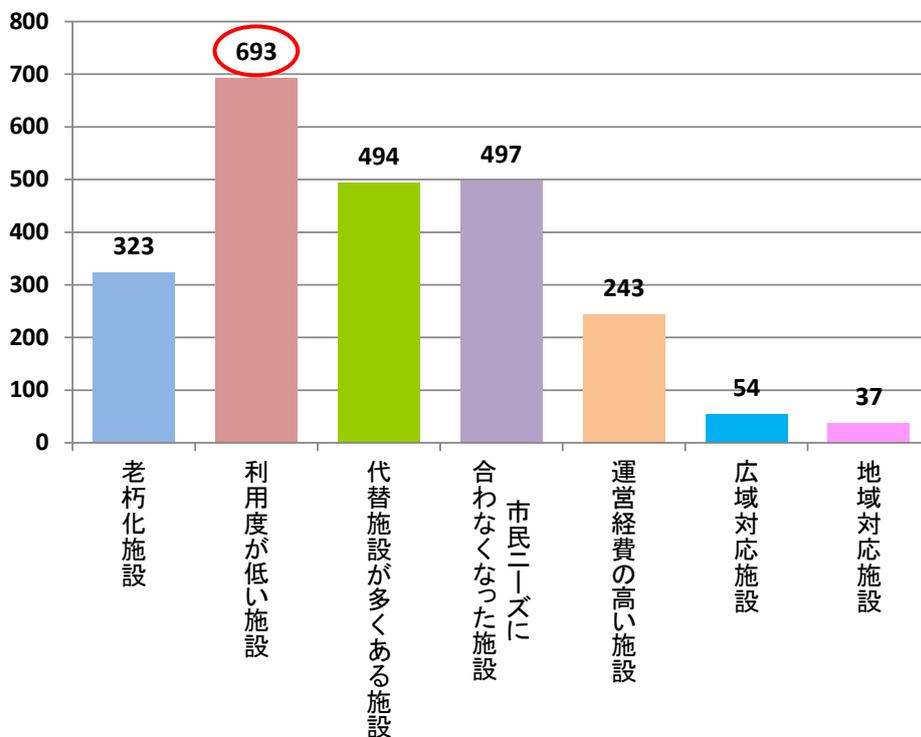


【問 16】：削減しても良いと考える施設について

公共施設にかかる経費を縮減するために、公共施設の総量(施設数)を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から削減していけば良いと思いますか。削減しても良いと考える施設をすべて選んで下さい。(複数回答可)

- ①老朽化が著しい施設
- ②利用度や稼働率が低い施設(あまり利用されていない施設)
- ③同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある場合
- ④人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設
- ⑤運営経費の高い施設
- ⑥市内全域で利用するような施設(鎌倉芸術館、スポーツ施設、青少年会館など)
- ⑦各地域で利用するような施設(行政センター、子ども会館、老人福祉センターなど)

	回答数	割合
①老朽化施設	323	39.0%
②利用度が低い施設	693	83.7%
③代替施設が多くある施設	494	59.7%
④市民ニーズに合わなくなった施設	497	60.0%
⑤運営経費の高い施設	243	29.3%
⑥広域対応施設	54	6.5%
⑦地域対応施設	37	4.5%
無回答者(全て該当無含む)	53	6.4%
本設問の回答者数	775	93.6%
回答者数	828	100.0%



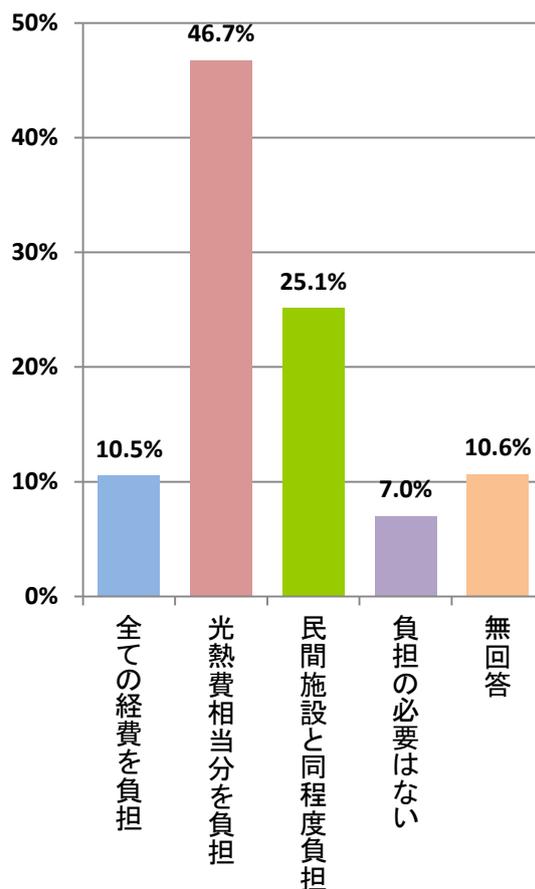
○老朽化の状況よりも、利用度の低さを削減の判断基準とする回答が多い。
 ○次いで代替施設がある施設、市民ニーズに合わなくなった施設を削減の判断基準とする回答が多い。

【問 17】：受益者負担について

公共施設を利用する際に、学習センターやスポーツ施設では施設使用料を支払いますが、現在、利用者が支払う使用料は、施設の運営に要する経費全体の 10～30%程度であり、残りは税金でまかなっています。受益者負担の原則から、利用者が負担する費用はどれくらいが適当だと思いますか？あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- ① 必要な全ての経費を利用者が負担するべきである。
- ② 使用する照明や空調などの光熱水費相当分は利用者が負担するべきである。
- ③ 民間の同種の施設と同程度は利用者が負担するべきである。
- ④ 負担の必要はない

	回答数	割合
全ての経費を負担	87	10.5%
光熱費相当分を負担	387	46.7%
民間施設と同程度負担	208	25.1%
負担の必要はない	58	7.0%
無回答	88	10.6%
合計	828	100.0%



- 老朽化の状況よりも、利用度の低さを削減の判断基準とする回答が多い。
- 次いで代替施設がある施設、市民ニーズに合わなくなった施設を削減の判断基準とする回答が多い。

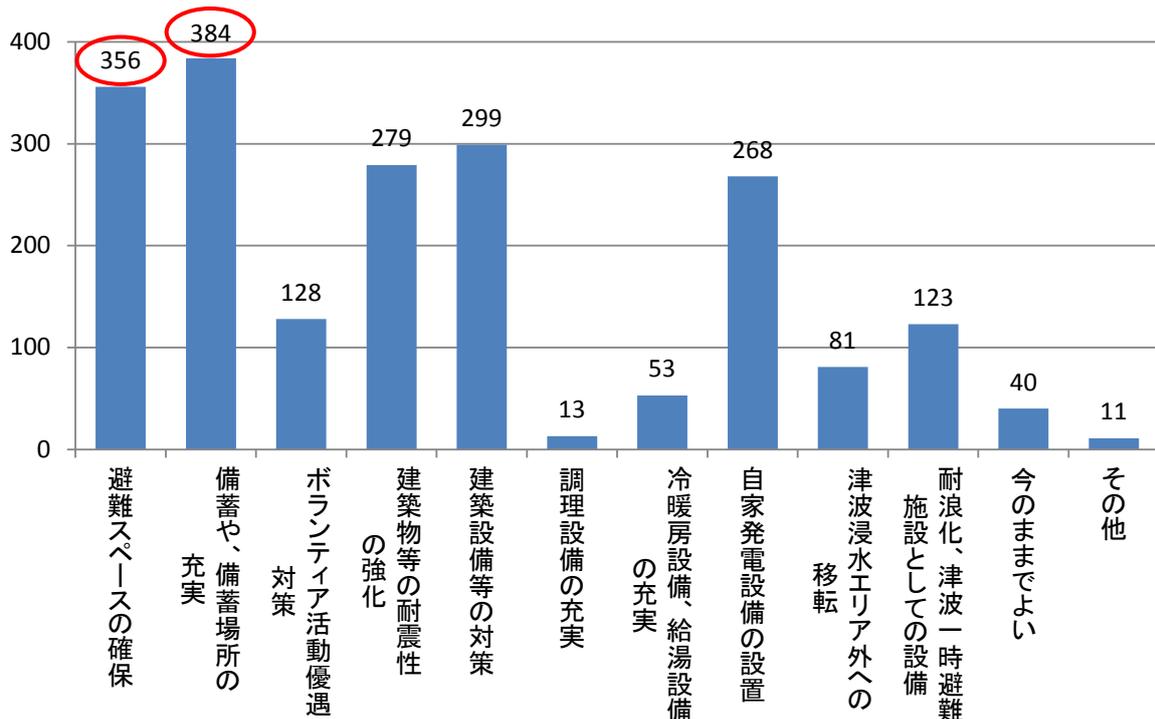
【問 18】：公共施設に求められる防災対策について

今ある公共施設を全て維持していくことが困難な中、あなたが力を入れるべきと考える防災拠点となる公共施設の防災対策は何だと思えますか？次の中から3つまで選んでください。

- ①十分な避難スペースの確保
- ②非常食などの備蓄や、備蓄場所の充実
- ③ボランティア活動が速やかに行われるようにするための対策
- ④建築物等の耐震性の強化
- ⑤災害時の安全な水の確保のための建築設備等の対策(受水槽・井戸等)
- ⑥調理設備の充実
- ⑦冷暖房設備、給湯設備(シャワー設備等)の充実
- ⑧自家発電設備(非常用電源)の設置
- ⑨津波浸水予測エリア内に位置する公共施設の津波浸水エリア外への移転
- ⑩津波浸水予測エリア内に位置する公共施設の耐浪化、津波一時避難施設としての整備
- ⑪今のままでよい(必要以上に防災対策に税金を使うべきではない)
- ⑫その他

	回答数	割合
避難スペースの確保	356	43.0%
備蓄や、備蓄場所の充実	384	46.4%
ボランティア活動優遇対策	128	15.5%
建築物等の耐震性の強化	279	33.7%
建築設備等の対策	299	36.1%
調理設備の充実	13	1.6%
冷暖房設備、給湯設備の充実	53	6.4%
自家発電設備の設置	268	32.4%
津波浸水エリア外への移転	81	9.8%
耐浪化、津波一時避難施設としての設備	123	14.9%
今のままでよい	40	4.8%
その他	11	1.3%
無回答者(全て該当無含む)	98	11.8%
回答者数	730	88.2%
合計	828	100.0%

○力を入れるべき防災対策として、備蓄の充実、避難スペースの確保とする回答が最も多い。
○次いで、建築設備等の対策、建築物等の耐震性の強化、自家発電設備の設置の順に多い。

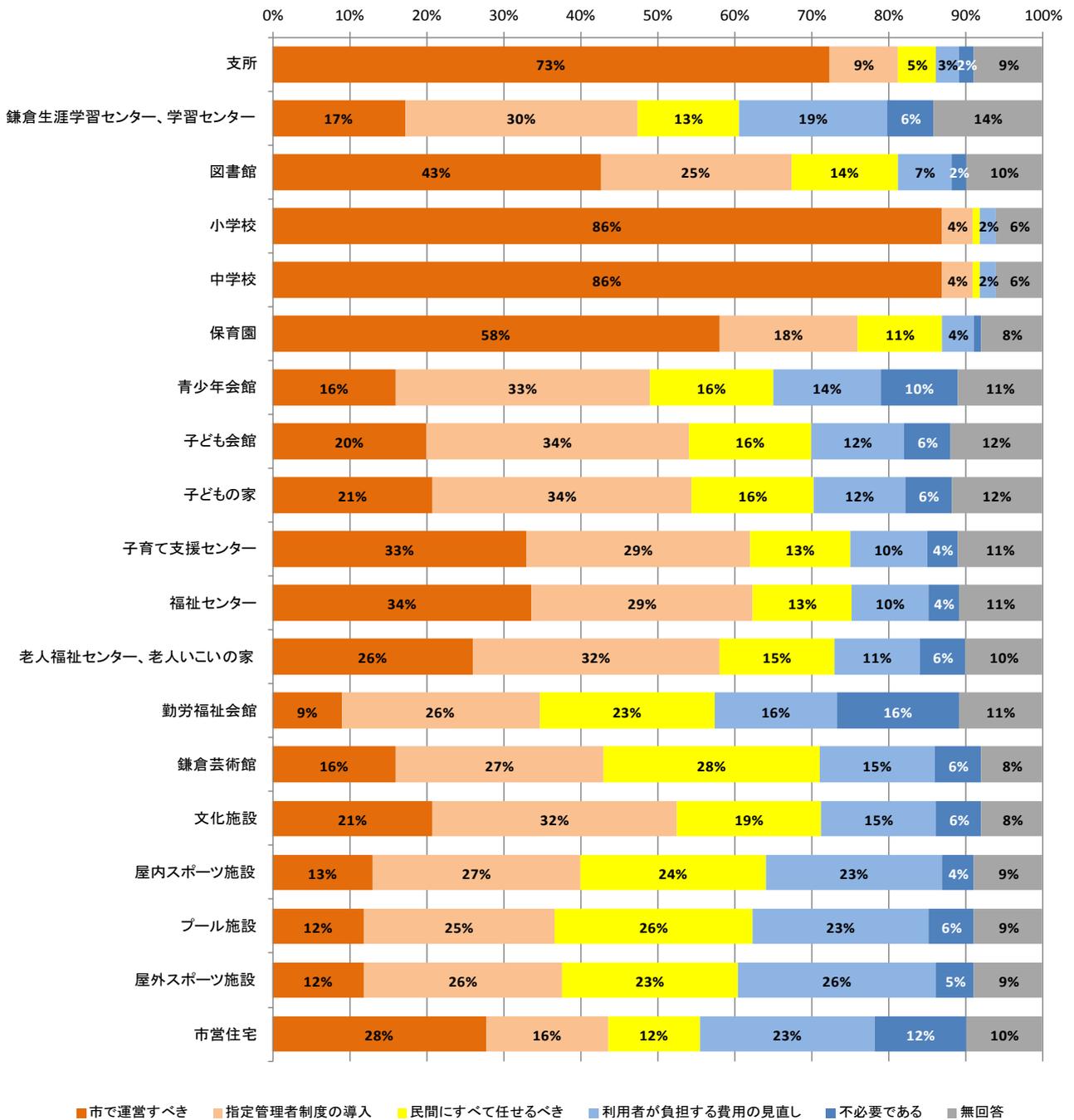


【問 19】：各公共施設の将来の運営方法について

公共施設にかかる費用を削減するために、公共施設の今後の運営方法のあり方・サービス(機能)の必要性について、どのように思いますか？

以下の施設毎に1つお答えください。

	市で運営すべき	指定管理者制度の導入	民間にすべて任せるべき	利用者が負担する費用の見直し	不必要である	無回答	合計
支所	600 72.5%	72 8.7%	40 4.8%	23 2.8%	17 2.1%	76 9.2%	828 100.0%
鎌倉生涯学習センター、学習センター	144 17.4%	248 30.0%	109 13.2%	159 19.2%	49 5.9%	119 14.4%	828 100.0%
図書館	355 42.9%	207 25.0%	112 13.5%	57 6.9%	16 1.9%	81 9.8%	828 100.0%
小学校	712 86.0%	35 4.2%	9 1.1%	16 1.9%	3 0.4%	53 6.4%	828 100.0%
中学校	711 85.9%	35 4.2%	10 1.2%	16 1.9%	3 0.4%	53 6.4%	828 100.0%
保育園	483 58.3%	151 18.2%	88 10.6%	34 4.1%	6 0.7%	66 8.0%	828 100.0%
青少年会館	136 16.4%	275 33.2%	128 15.5%	112 13.5%	85 10.3%	92 11.1%	828 100.0%
子ども会館	167 20.2%	281 33.9%	132 15.9%	102 12.3%	51 6.2%	95 11.5%	828 100.0%
子どもの家	173 20.9%	277 33.5%	129 15.6%	100 12.1%	49 5.9%	100 12.1%	828 100.0%
子育て支援センター	275 33.2%	240 29.0%	111 13.4%	84 10.1%	30 3.6%	88 10.6%	828 100.0%
福祉センター	283 34.2%	242 29.2%	104 12.6%	80 9.7%	29 3.5%	90 10.9%	828 100.0%
老人福祉センター、老人いこいの家	216 26.1%	266 32.1%	127 15.3%	87 10.5%	46 5.6%	86 10.4%	828 100.0%
勤労福祉会館	76 9.2%	215 26.0%	186 22.5%	134 16.2%	130 15.7%	87 10.5%	828 100.0%
鎌倉芸術館	136 16.4%	227 27.4%	230 27.8%	121 14.6%	50 6.0%	64 7.7%	828 100.0%
文化施設	170 20.5%	266 32.1%	153 18.5%	123 14.9%	47 5.7%	69 8.3%	828 100.0%
屋内スポーツ施設	104 12.6%	226 27.3%	196 23.7%	190 22.9%	36 4.3%	76 9.2%	828 100.0%
プール施設	99 12.0%	209 25.2%	213 25.7%	186 22.5%	48 5.8%	73 8.8%	828 100.0%
屋外スポーツ施設	98 11.8%	212 25.6%	187 22.6%	214 25.8%	45 5.4%	72 8.7%	828 100.0%
市営住宅	229 27.7%	132 15.9%	95 11.5%	192 23.2%	95 11.5%	85 10.3%	828 100.0%



○小中学校の義務教育施設を除くと、支所、保育園は市で直営すべきとする回答が多い。
 ○その他の施設では、指定管理者制度の導入や民間にすべて任せるべきと考える人が多い。
 ○スポーツ施設や市営住宅は、利用者が負担する費用の見直しが必要とする回答が多い。